

親愛なるインド国民の皆さん こんにちは。女川町長の須田善明です。

あれから5年の月日が流れました。この五年間あつという間のような、あるいは長かったようないろいろな思いがいたします。あれからの歩みの中で私たちは大変多くの励ましをいただけてきました。そしてその励ましの大きなひとつに皆様の存在があります。壊滅した街を本当にどうしようか、一人一人が絶望しかない中で、世界各国の多くの皆さんからのサポートをいただきましたが、その中で一番最初に私たちのサポートに入っていたのが、インドの救援隊の皆様でした。あのときの皆様の活躍、そしてお力添え、決して忘れることはありません。捜索隊の皆様は、行方不明の方や様々なものを捜索をいただきました。あの当時のがれきの山は、今はすっかり新しい場所に生まれ変わり、新しい商店街ができて、町に住む私たち、そして外からこの女川を訪問される多くのお客様で、今は賑わいを見せています。

ただ、街づくりはまだまだこれからです。新しい住む場所を手に入れた方はまだ全体の40%しかありません。それが現実などころではありますけれども、これまで5年間準備してきたものが、ここからようやく大きなステップに入っていく、大きな花が開いていく、そのような段階にようやく入ることができました。皆様のお力添えがなければ私たちもくじけていたかもしれません。そしてあの日、私たちは、命、財産、思い出、色々なものを一度に失ってしまいましたけれども、こうやってメッセージを送らせていただく、こういうご縁を、私たちは色々なものを失う中で、未来に向かって御縁・繋がりを得ることができました。そしてそのことが私たちの未来に向かう力になっているのであります。

今日もこのように式典を開いていただきますことを、本当にありがたく思っております。皆様の思いにこたえられるよう、これから私たちは将来に向かって、力強く、力を合わせて歩んでいきたいという風に思っております。日本を訪れの際は、是非この女川を訪れていただきたい。皆様のサポートをいただく中で再生の歩みを始めた女川という場所がどういう風に生まれ変わったか、その息吹を是非感じていただきたいという風に思います。皆様の本当に温かい心からのご支援、そしてお励ましに心から感謝を申し上げて私からの御挨拶とさせていただきます。皆様本当にありがとうございます。